

Release Identification: **LT1912**
2008.01.22

リニアテクノロジー、新製品「LT1912」を販売開始

3mm×3mm DFN パッケージの 36V、2A(I_{OUT})、500kHz 降圧 DC/DC コンバータ

2008 年 1 月 22 日 - リニアテクノロジーは、3mm×3mm DFN(または MSOP-10E)パッケージで供給される 2A、36V 降圧スイッチング・レギュレータ「LT1912」の販売を開始しました。1,000 個時の参考単価は、LT1912EDD が 341 円(税込み)から、LT1912EMSE が 352 円(同)からです。LT1912IDD と LT1912IMSE は -40~+125°C の動作接合部温度で動作することがテスト保証されており、1,000 個時の参考単価は LT1912IDD が 409 円(税込み)から、LT1912IMSE が 423 円(同)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。

LT1912 は 3.6V~36V の入力電圧範囲で動作し、車載アプリケーションで見られる負荷遮断状態やコールドクランク状態に最適なデバイスです。3.2A の内部スイッチは、0.79V の低電圧で最大 2A の連続出力電流を供給可能です。スイッチング周波数は、200kHz~500kHz の範囲でユーザ設定可能なので、小型の外付け部品を使用しながら効率を最適化します。3mm×3mm DFN-10 パッケージ(または熱特性が改善された MSOP-10E パッケージ)と小型の外付け部品により、実装面積が小さく熱効率が高いソリューションを提供します。

LT1912 は、高効率の 3.2A、0.25Ω スイッチに加え、必要な昇圧ダイオード、発振器、制御回路、ロジック回路を 1 個のチップに集積しています。特別な設計技法と新しい高電圧プロセスによって広い入力電圧範囲で高効率を達成し、電流モード・トポロジーを採用することにより高速過渡応答と優れたループ安定性が得られます。また、(250kHz~500kHz) の外部同期、パワーグッド・フラグ、ソフトスタート機能なども搭載しています。

LT1912 の特長:

- 広い入力電圧範囲: 3.6V~36V で動作
- 出力電流: 2A(最大)
- 調整可能なスイッチング周波数: 200kHz~500kHz
- 低いシャットダウン電流: $I_{SD} < 1\mu A$
- 昇圧ダイオード内蔵
- 250kHz~500kHz で同期可能
- 飽和スイッチ設計: 0.25Ω オン抵抗
- 帰還リファレンス電圧: 0.790V
- 出力電圧: 0.79V~20V
- ソフトスタート機能
- 熱特性が改善された小型 10ピン MSOP および(3×3mm)DFN パッケージ

フォトキャプション: 36V、2A(I_{OUT}) 降圧 DC/DC コンバータ
Copyright: 2008 Linear Technology

以上

リニアテクノロジー株式会社 www.linear-tech.co.jp

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 秀和紀尾井町パークビル 8F

メディアの方お問い合わせ先: リニアテクノロジー(株) マーケティング 高橋和渡 ktakahashi@linear.com

ミアキス・アソシエイツ 河西 linear-pr@miacis.com

記事掲載時お問合せ先: リニアテクノロジー(株) TEL 03-5226-7291(代表) www.linear-tech.co.jp